

「ピースおおさか」とは?



大阪城公園内にある「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」です。今年の9月で、開館から30年を迎えます。

太平洋戦争末期、大阪には50回を超える空襲があり、大阪府内では行方不明者を含めて約1万5千人の犠牲者が出たといわれています。

館内には、大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」（とぎのにわ）もあります。

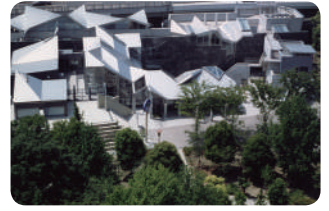
ピースおおさか (大阪国際平和センター)

〒540-0002
大阪府中央区大阪城2-1

TEL : 06-6947-7208

FAX : 06-6943-6080

<http://www.peace-osaka.or.jp>



休館日

月曜、国民の休日の翌日(9月から11月までを除く)、館内整理日(所定月の月末)、年末年始

開館時間

9:30~17:00(入館は16:30まで)

入館料

大人250円、高校生150円・中学生以下は無料、65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)
※20名以上は団体割引

アクセス

JR・Osaka Metro森ノ宮駅より西へ400m



来館の際は必ずマスクをご着用ください。
また、体調不良の方のご来館はお断りさせていただきます。

毎週土曜日の映画上映会「ウィークエンド・シネマ」でも、特別展関連作品を上映!



10月 「さよなら、アルマ」(93分)

11月 「天王寺おばあちゃんゾウ 春子 最後の夏」(99分)

12月 「北極のナヌー」(84分)

詳細はピースおおさかのホームページで!
Twitter や Facebook でも最新情報を発信しています!

公式 Twitter

@oipc0917



公式 Facebook

@oipc0917



学芸員の
おすすめ
コレクション

大阪市文化財協会

森の宮遺跡出土 弥生時代の大形尖頭器

写真は、今年の2月にJR森ノ宮駅南側の中央区森ノ宮1丁目の発掘調査で出土した弥生時代中期、今から1,700~1,800年前の打製の大形尖頭器(おおがたせんとうぎ)です。先端および基部が一部欠損していますが、残存長が14.7cm、最大幅が3.2cmあり、基部に木柄をとりつけた短剣として用いられたと考えられます。大阪府と奈良県の境にある二上山から産出するサヌカイトを用いて、細かくたたいて仕上げられた優品です。このように丁寧に作られた石製の大形武器は出土数も限られており、力を示すシンボルとして成人男性が携帯していた、という説があります。

大阪市文化財協会学芸員 大庭重信

※今回紹介した資料は、10月27日(水)~12月20日(月)までは大阪歴史博物館の特集展示「新発見! なにわの考古学2021」で、それ以前は大阪市文化財協会難波宮調査事務所展示室でご覧になれます。

最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-6-41 TEL 06-6943-6833 FAX 06-6920-2272
ホームページ <http://www.occpa.or.jp/> アクセス Osaka Metro「谷町四丁目」10号出口



弥生時代の大形尖頭器
(大坂城跡・森の宮遺跡)

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

大阪歴史博物館 大阪城天守閣 大阪市立自然史博物館 大阪市立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 大阪市文化財協会

大阪市立科学館 天王寺動物園 大阪中之島美術館準備室 大阪くらしの今昔館